

## 今後の総合部会の進め方等について（案）

平成24年11月1日

今後の総合部会における地震調査研究推進本部の成果の普及展開方法に係る議論や取組についてのスケジュールは以下のとおり。

### 1. 今後の取組案

- (1) 昨年3月末までの報告書「地震調査研究推進本部の成果の効果的な普及方策について」のリバイス
- (2) 報告書に沿った具体的方策の検討・実行
- (3) 地震調査委員会の長期評価等の成果物の検討
- (4) (1)～(3)に関連するアンケート調査

### 2. 各取組における論点

- (1) 昨年3月末までの報告書「地震調査研究推進本部の成果の効果的な普及方策について」のリバイス

※東日本大震災以降の新総合基本施策の見直し等を踏まえてリバイスした上で固める。

※震災以降の状況については、本年3月に実施した経済波及調査の結果を活用し、必要な場合にはアンケート等の追加調査を実施。

- (2) 報告書に沿った具体的方策を検討・実行

報告書中に沿った総合部会が提案する取組を実行するためのワーキンググループ(WG)を設けて、具体的な方策を検討・実行する。結果等については、総合部会に報告する。まずは第一歩として、以下の作業チームを設けて作業を進めてみてはどうか。

◆回数：数回（2～5回程度？）

◆メンバー：数人（3～6人？）、総合部会のメンバー（希望者）＋有識者

#### 【ワーキンググループ案】

##### ○地震本部ホームページWG

自治体・一般国民が理解・活用し易くするためのコンテンツや掲載方法の改善（長期評価を分かり易く簡潔に解説した概要資料の作成、J-SHIS改善、地域別のページの設置等）、ユーザビリティの改善。他分野の研究・民間企業が活用し易いデータの掲載等

## ○パンフレット・副教材 WG

①学校での防災教育、②自治体の市民への説明会、③大学教員の地域での講演会、④地域防災リーダーの講演等に活用できるような資料・素材の検討。一般向けのパンフレットの内容、提供方法等の検討等

## ○シンポジウム等 WG

普及・啓発のためのシンポジウム開催企画、定例説明会・記者説明会の改善方策を検討。シンポジウムは、予算の都合から来年度に本格実施とするが、今年度内にいずれかの地域でパイロット的に開催してみてもどうか。

### (3) 地震調査委員会の長期評価等の成果物の検討

今後、①長期評価による地震発生確率値の更新、②地震動予測地図の改訂、③南海トラフの長期評価の見直し、④活断層の地域評価（九州）等の種々の成果物の公表が予定されているが、これらの成果物の在り方の検討（防災に役立てられるような内容・表現方法の工夫、一般の国民が理解し易くするための工夫、科学的限界をどのように表現すれば良いか等）

### (4) (1)～(3)に関連するアンケート調査

- ・長期評価等の改善のために、どのようなニーズがあるか。
- ・副教材を作成するに当たり、教える側、教えられる側それぞれ、どのようなニーズがあるか。
- ・報告書のリバイスに必要な追加調査 等

## 3. 今後のスケジュール

平成24年11月1日	総合部会（今後の進め方、長期評価の成果物（地震動予測値図等）等）
12月～3月	ワーキンググループ開催
12月	政策委員会及び総合部会の合同会議（今後の進め方、報告書リバイス、長期評価の成果物（津波評価、南海トラフの長期評価の見直し）等）
平成25年 1月	総合部会（ワーキンググループ活動中間報告、活動報告を踏まえた報告書リバイス等）
3月	政策委員会及び総合部会の合同会議（ワーキンググループ活動報告、長期評価の成果物報告等）